



平成 20 年 8 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社サガミチェーン
 (コード番号 9900)
 代表者氏名 代表取締役社長 眞鍋 洋治
 連 絡 者 常務取締役
 管理統轄担当 畑 和夫
 電 話 番 号 (052) 771-2126

特別損失発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年1月期中間決算におきまして、特別損失を計上見込みであります。また、最近の業績動向等を踏まえ、平成20年3月5日に公表いたしました平成21年1月期(平成20年1月21日から平成21年1月20日)の連結・個別業績予想数値を下記のとおり修正いたしましたので合わせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上見込み

固定資産の減損に係る会計基準に基づき、当社グループの資産(建物及び構築物、機械装置及び運搬具、器具及び備品、土地及びその他)につき減損損失を計上の見込みであります。また、不採算店舗の閉鎖に伴う撤去費用等の損失も計上の見込みであります。

	連結	個別
減損損失の計上額	123百万円	123百万円
店舗閉鎖損失の計上額	10百万円	8百万円

2. 平成 21 年 1 月期中間期業績予想の修正

(1) 平成 21 年 1 月期中間期連結業績予想数値の修正 (平成20年1月21日~平成20年7月20日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,878	0	15	△240	△9.83
今回修正予想 (B)	12,480	△175	△170	△480	△19.67
増減額 (B - A)	△398	△175	△185	△240	△9.83
増減率 (%)	△3.0	—	—	—	—
前期実績 (平成19年7月期)	12,715	13	53	△376	△15.45

(2) 平成21年1月期中間期個別業績予想数値の修正 (平成20年1月21日～平成20年7月20日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,430	△75	△65	△260	△10.65
今回修正予想 (B)	11,050	△224	△195	△450	△18.44
増減額 (B - A)	△380	△149	△130	△190	△7.79
増減率 (%)	△3.3	—	—	—	—
前期実績 (平成19年7月期)	11,324	△80	△53	△395	△16.22

3. 平成21年1月期業績予想の修正

(1) 平成21年1月期連結業績予想数値の修正 (平成20年1月21日～平成21年1月20日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	26,800	605	630	50	2.05
今回修正予想 (B)	25,830	295	305	△100	△4.10
増減額 (B - A)	△970	△310	△325	△150	△6.15
増減率 (%)	△3.6	△51.2	△51.5	—	—
前期実績 (平成20年1月期)	26,460	396	469	△157	△6.45

(2) 平成21年1月期個別業績予想数値の修正 (平成20年1月21日～平成21年1月20日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	23,950	495	510	0	0.00
今回修正予想 (B)	23,050	225	275	△60	△2.46
増減額 (B - A)	△900	△270	△235	△60	△2.46
増減率 (%)	△3.7	△54.5	△46.0	—	—
前期実績 (平成20年1月期)	23,701	282	331	△155	△6.38

4. 修正の理由

(1) 中間期業績予想

- ① 売上高は平成20年3月5日発表の業績予想 (以下 期初予想) に対し3億98百万円減収の124億80百万円となる見通しです。これは当社の主力業態である「サガミ」の既存店売上高前年比が期初予想1.7%増の見通しに対し、実績が1.9%減となったためであります。
- ② 売上原価率は、小麦価格の高騰をはじめ原材料価格が値上がり傾向にありましたが、

3月期に実施した価格改定が奏功し売上原価率は期初予想30.2%に対し0.5ポイント減の29.7%となる見通しです。

- ③ 販管費は期初予想89億83百万円を見込んでおり、一部の経費で削減の取り組みがありました。ガスの値上がりにより水道光熱費が増加。これにより販管費は期初予想に対し38百万円減の89億45百万円となる見通しです。
- ④ 先述の理由により営業損失を1億75百万円（期初予想0円）、経常損失を1億70百万円（期初予想15百万円プラス）それぞれ計上する見通しです。
- ⑤ 特別利益につきましては28百万円（期初予想0円）、特別損失につきましては1億96百万円（期初予想1億51百万円）をそれぞれ計上の見込みであり、これにより当期純損失は期初予想に対し2億40百万円減益の4億80百万円となる見通しです。
- ⑥ 個別業績予想の修正につきましては、連結業績予想の修正と同じ理由により売上高110億50百万円、営業損失2億24百万円、経常損失1億95百万円にそれぞれ修正いたしました。なお、特別利益は38百万円（期初予想0円）、特別損失は1億83百万円（期初予想96百万円）を見込んでおり、これにより当期純損失は4億50百万円となる見通しです。

（2）通期業績予想

- ① 連結の業績予想につきましては、売上高を258億30百万円、営業利益を2億95百万円、経常利益を3億05百万円にそれぞれ修正いたしました。特別利益は27百万円、特別損失は2億31百万円（期初予想2億70百万円）を見込み、これにより当期純損失は1億円となる見通しです。
- ② 個別の業績予想につきましては直近の動向を勘案したうえで、「サガミ」既存店売上高の見通しを前年比2.5%減（期初予想1.3%増）に修正いたしました。これにより売上高を230億50百万円、営業利益を2億25百万円、経常利益2億75百万円、当期純損失を60百万円にそれぞれ修正いたしました。
- ③ 業態変更を含む新規出店はサガミ1店、どんどん庵5店、その他業態4店の合計10店（期初予想13店）を計画しております。一方閉店はサガミ6店、どんどん庵3店その他業態5店の合計14店（期初予想9店）を計画しております。これにより期末の店舗数は271店（期初予想279店）となる見通しです。

（3）追補

業績予想の修正に際し、平成21年1月期の配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「配当予想の修正について」をご覧ください。なお、ご好評を頂いております、株主優待制度（年3万円相当の食事券進呈）につきましては変更ございません。

以上